

東部下水処理場



東部下水処理場の沿革

昭和60年	1月	第13次事業認可変更 (東部処理区の追加)
昭和61年	7月	処理場工事着手
平成元年	4月	処理場供用開始
平成2年	5月	第17次事業認可変更 (東部処理区の拡大)
平成4年	12月	第19次事業認可変更 (東部処理区の拡大)
平成12年	3月	第23次事業認可変更 (東部処理区の拡大)
平成15年	4月	第25次事業認可変更 (東部処理区の拡大)
平成22年	8月	第26次事業認可変更 (東部処理区の拡大)
平成25年	8月	第27次事業計画変更 (東部処理区の拡大)
平成31年	1月	第30次事業計画変更 (東部処理区の縮小)
令和6年	3月	第33次事業計画変更 (東部処理区の拡大)

長崎市上下水道局



東部下水処理場の概要

東部下水処理場は、長崎市東部地域の公共水域の水質汚濁防止と清潔で快適な生活環境整備のために計画され、主な処理区域として、田中町、矢上、かき道、戸石、東町、現川、松原、古賀といった地区を対象としております。

当処理区の第1期計画事業は、383ha、28,000人を対象に事業認可を得て、事業に着手、管渠工事及び処理場建設工事を精力的に推進し、平成元年4月、供用を開始しました。その後さらに整備が進められ、現在、処理人口42,043人（令和5年度末）、処理能力18,700m³/日に至っています。

近年では人口減少等の社会情勢の変化に伴い、令和5年度に全体計画、平成事業計画の見直しを行っています。

計画概要 (令和5年度末)

区分	全体計画 (R27)	事業計画 (R10)	現況	
所在地	長崎市田中町 279 番地 46			
排除方式	分流式			
処理方式	標準活性汚泥法			
処理場敷地面積	370 アール			
供用開始年月日	平成元年 4 月 1 日			
処理区域面積	989.87ha	988.37ha	728.6ha	
計画処理人口	33,550 人	40,770 人	42,043 人 (R5 末)	
水洗化人口	—	—	41,384 人 (R5 末)	
計画日最大汚水量	11,590m ³ /日	14,060m ³ /日	—	
施設処理能力	14,000m ³ /日	14,060m ³ /日	18,700m ³ /日	
水質	流入 (mg/ℓ)	BOD 220	BOD 220	BOD 245
		SS 230	SS 230	SS 280
	放流 (mg/ℓ)	BOD 14	BOD 14	BOD 3.2
		SS 40	SS 40	SS 1
放流先	網場湾 (海域 A-イ)			

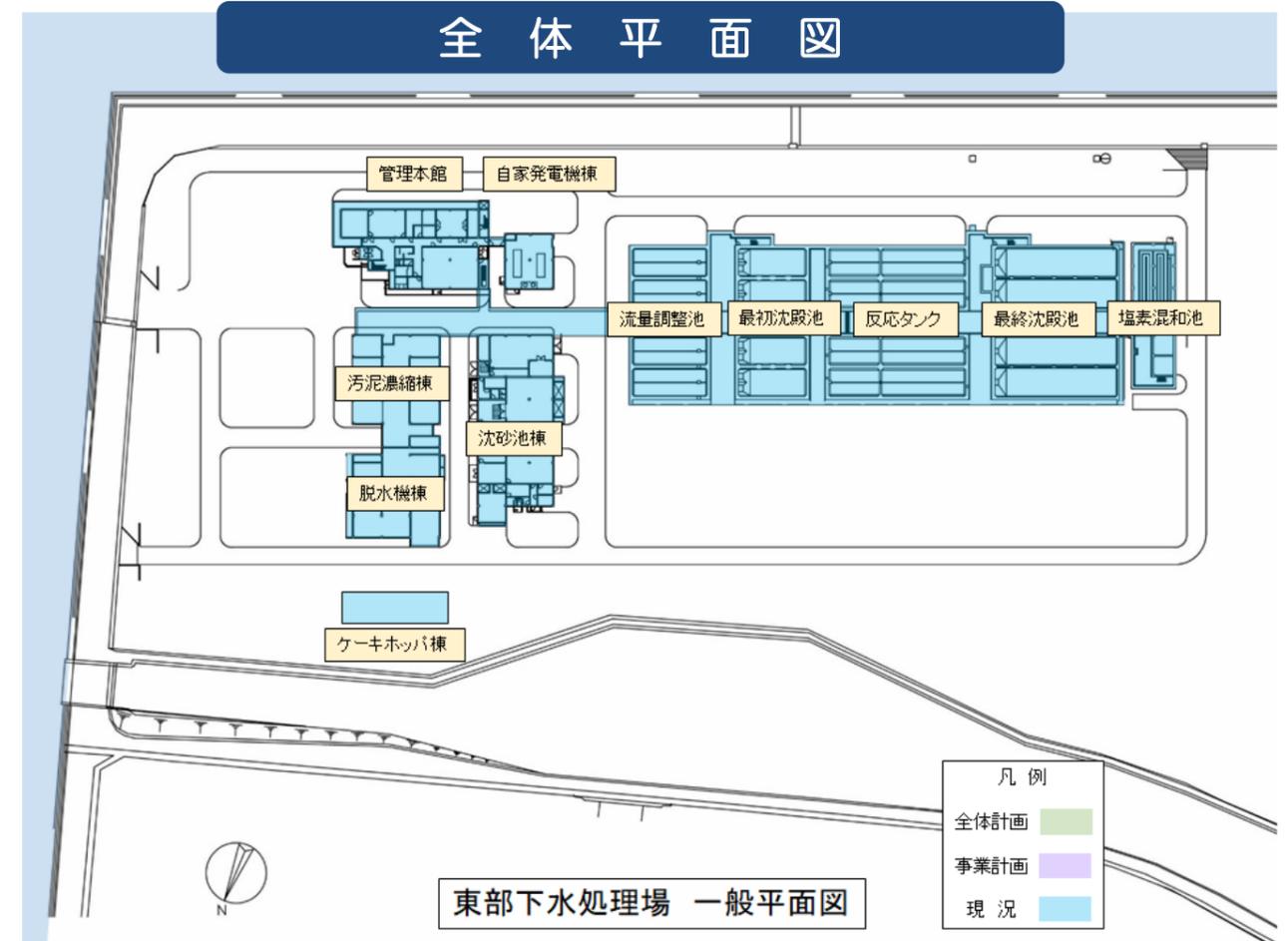
主要設備

(令和5年度末)

項目	全体計画	現況設備	
ポンプ	沈砂池	W2.00×L10.50×H8.00 1 池	同 1 池
	主ポンプ	8.8m ³ /分×37kW 3 台 (1)	8.8m ³ /分×45kW 2 台
		—	17.5m ³ /分×75kW 1 台 (0)
水処理	流量調整池	W7.45×L18.5×H4.5 4 池	同 4 池
	最初沈殿池	W7.45×L18.0×H2.5 4 池	同 4 池
	反応タンク	W7.50×L35.5×H5.5 4 池	同 4 池
	送風機	18m ³ /分 2 台	同 2 台
		36m ³ /分 3 台 (1)	同 2 台 (1)
	最終沈殿池	W7.45×L31.5×H2.5 4 池	同 4 池
汚泥処理	初沈汚泥濃縮	重力式 φ6.0×H3.0 1 槽	同 1 槽
	余剰汚泥濃縮	ベルト濃縮機 10m ³ /h 2 台	同 2 台
	脱水機	スクリーンプレス脱水機 440kg/h 2 台	加圧脱水機 2 台
脱臭設備	—	薬品洗浄方式+活性炭 3 台	

補足：() 内は予備

全体平面図



東部下水処理場 一般平面図